

第8期 中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社



代表取締役社長 井原 勝美

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。この度の東日本大震災により被災されました方々に、心よりお見舞い申しあげます。被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。

ソニーフィナンシャルホールディングスグループ（SFHグループ）の平成23年度中間期連結業績についてご報告いたします。

生命保険事業では、保有契約高の堅調な推移により保険料等収入が増加した結果、経常収益は増加いたしました。東日本大震災にともなう保険金支払額が、前年度末に支払備金で想定した金額より少なかったものの、金利リスク低減を目的とした保有債券の入替えにともなう有価証券売却益が減少したことにより、経常利益は減少いたしました。損害保険事業では、自動車保険を中心とした保有契約件数の順調な伸びにより正味収入保険料が増加し、経常収益は増加いたしました。損害率が上昇したものの、その影響は異常危険準備金の戻し入れにより緩和され、経常収益の増加によって経常利益は増加いたしました。銀行事業では、ソニー銀行が株式会社スマートリンクネットワークを子会社化したことにより、新たに当社が連結対象となったことから、経常収益は増加いたしました。住宅ローン残高の増加にともなう貸出金利息の増加や円預金にかかる支払利息の減少により業務粗利益が拡大し、経常利益も増加いたしました。

以上の結果、連結経常収益は前年同期に比べ2.8%増の5,099億円、連結経常利益は前年同期に比べ40.2%減の308億円、中間純利益は前年同期に比べ44.4%減の163億円となりました。

引き続きSFHグループは、金融の4つの機能である「貯める」「増やす」「借りる」「守る」を融合し、10年先、20年先を見すえた、新しい個人向け金融サービスの提供を追求してまいります。株主の皆さまのご期待に応えるべく、事業の発展と企業価値の向上に役職員一丸となって努力してまいりますので、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

なお、配当につきましては、SFHグループ各社の高い健全性を維持し、今後の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆さまへの安定的な配当を実施することを基本方針としており、年1回、6月に期末配当として剰余金の配当を行っておりますことをご理解いただきたくお願い申しあげます。

ビジョン

SFHグループは、金融の持つ多様な機能（貯める・増やす・借りる・守る）を融合して、お客さま一人ひとりの経済的ニーズにあわせた付加価値の高い商品と質の高いサービスを提供することにより、お客さまから最も信頼される金融サービスグループになることを目指します。

理念

お客さま本位

私たちは、お客さまが安心して豊かに暮らせるお手伝いをさせていただくために、お客さま一人ひとりの「声」を真摯に受けとめ、お客さまが満足される商品とサービスを提供します。

社会への貢献

私たちは、金融サービス事業に特段の公共性が求められることを自覚し、高い倫理観と使命感をもってビジョンを実現し、社会に貢献します。また、社会の一員として、よき市民としての責任を果たします。

独自性の追求

私たちは、常に原点から発想し、慣例等にとらわれず創造と革新を追求します。

自由豁达な組織文化

私たちが目指す金融サービス事業では、社員一人ひとりの貢献が重要であると認識しています。私たちは、個性を活かし、能力を十二分に発揮できる自由豁达な組織文化を支持します。

体制図

(平成23年9月30日現在)

ソニーフィナンシャルホールディングス

生命保険事業

●100%出資

ソニー生命

●100%出資

Sony Life Insurance
(Philippines)

●100%出資

リプラ

●50%出資

ソニーライフ・エイゴン生命

●50%出資

SA Reinsurance

損害保険事業

●100%出資

ソニー損保

銀行事業

●100%出資

ソニー銀行

●100%出資

ソニーバンク証券

●57%出資

スマートリンクネットワーク

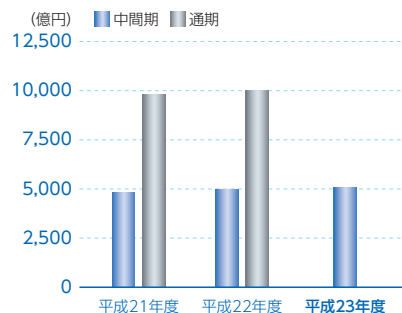
●連結子会社 ●持分法適用関連会社 ●非連結子会社

業績ハイライト：ソニーフィナンシャルホールディングス（連結）

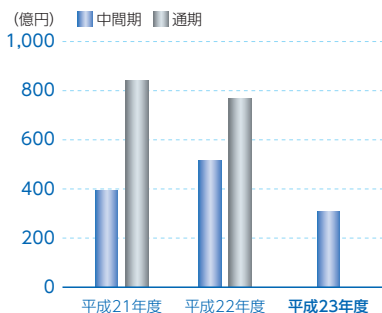
		平成21年度		平成22年度		平成23年度
		中間期	通期	中間期	通期	中間期
経常収益	(億円)	4,812	9,789	4,962	10,022	5,099
経常利益	(億円)	394	843	515	768	308
中間（当期）純利益	(億円)	233	481	294	417	163
1株当たり中間（当期）純利益	(円)	53.76	110.64	67.63	95.90	37.62

※ 平成23年4月1日を効力発生日として、1株につき200株の割合をもって株式分割を行いました。過年度の1株当たり中間（当期）純利益の数字は、当該株式分割を反映した数字です。

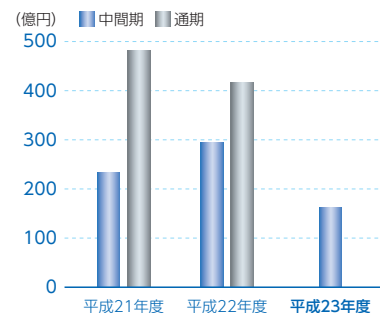
〈経常収益〉



〈経常利益〉



〈中間（当期）純利益〉



▶ セグメント別業績の概況

	経常収益 (百万円)			経常利益 (百万円)		
	平成22年度 中間期	平成23年度 中間期	増減率 (%)	平成22年度 中間期	平成23年度 中間期	増減率 (%)
生命保険事業	444,530	454,987	2.4	49,594	28,141	△43.3
損害保険事業	37,107	39,930	7.6	675	739	9.3
銀行事業	15,478	15,994	3.3	1,215	1,904	56.7
小計	497,116	510,912	2.8	51,485	30,785	△40.2
全社または消去	△907	△992	—	69	68	△0.7
連結	496,209	509,919	2.8	51,554	30,854	△40.2



より詳しい情報につきましては、当社のホームページ

<http://www.sonyfh.co.jp/>

をご覧ください。

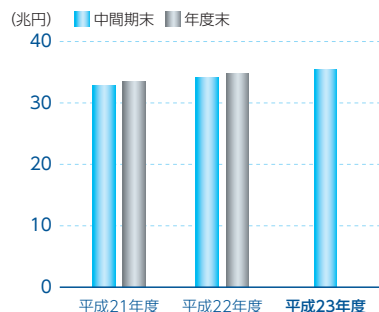
主要業績指標：ソニー生命（単体）

	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	中間期	通期	中間期	通期	中間期
新契約高 (億円)	18,184	40,492	20,684	41,990	20,517
新契約年換算保険料 (億円)	320	687	349	712	332
うち第三分野 (億円)	77	162	79	166	81
保有契約高 ^[中間期末/年度末] (億円)	328,975	334,707	341,185	347,485	353,711
保有契約年換算保険料 ^[中間期末/年度末] (億円)	5,584	5,733	5,896	6,047	6,180
うち第三分野 (億円)	1,296	1,330	1,366	1,407	1,447
保険料等収入 (億円)	3,393	7,001	3,710	7,703	3,957
解約・失効率 (%)	3.27	7.21	3.11	6.41	2.95
資産運用損益（一般勘定） (億円)	426	920	654	1,076	445
総資産 ^[中間期末/年度末] (億円)	40,420	42,865	44,878	47,233	49,225
ソルベンシー・マージン比率 ^[中間期末/年度末] (%)	2,433.8	2,637.3	2,992.8	2,900.1	3,148.0
ライフプランナー在籍数 ^[中間期末/年度末] (名)	3,971	4,036	4,019	4,017	3,961

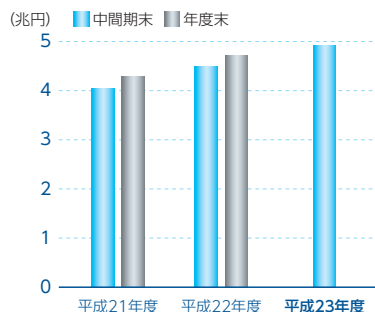
※1 新契約高、新契約年換算保険料、保有契約高、保有契約年換算保険料および解約・失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

※2 解約・失効率は復活契約を失効と相殺せずに算出した数値です。

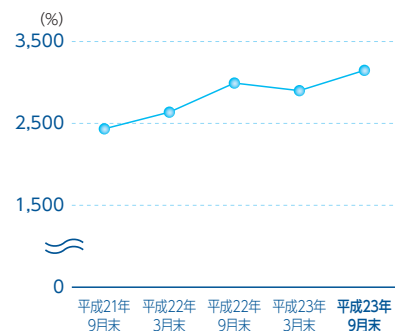
〈保有契約高〉



〈総資産〉



〈ソルベンシー・マージン比率〉



より詳しい情報につきましては、当社のホームページ

<http://www.sonyfh.co.jp/>

から「IR資料」をご覧ください。

主要業績指標：ソニー損保

		平成21年度		平成22年度		平成23年度
		中間期	通期	中間期	通期	中間期
元受正味保険料	(億円)	334	670	364	728	390
正味収入保険料	(億円)	336	674	367	733	394
正味支払保険金	(億円)	161	345	190	392	211
保険引受利益	(億円)	12	19	3	14	3
正味事業費率	(%)	25.2	26.1	24.7	25.5	25.5
正味損害率	(%)	54.0	57.2	58.2	60.0	60.1
コンバインド・レシオ	(%)	79.2	83.3	83.0	85.6	85.7
保有契約件数	^{【中間期末】} _{【年度末】} (万件)	122	127	133	138	144
ソルベンシー・マージン比率	^{【中間期末】} _{【年度末】} (%)	1,033.6	1,018.5	1,010.3	981.4	960.9

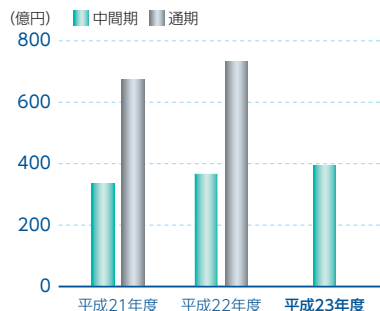
※1 正味事業費率=保険引受に係る事業費÷正味収入保険料

※2 正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)÷正味収入保険料

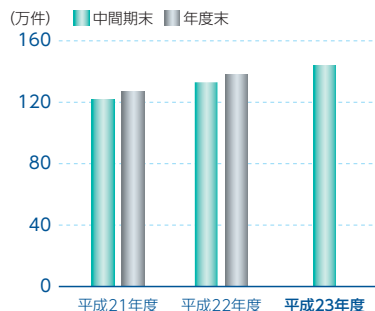
※3 コンバインド・レシオ=正味損害率+正味事業費率

※4 保有契約件数は、正味収入保険料の99%を占める、自動車保険およびガン重点医療保険の合算値です。

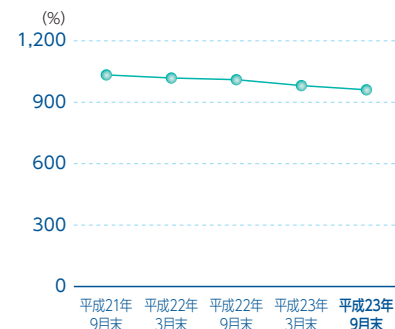
〈正味収入保険料〉



〈保有契約件数〉



〈ソルベンシー・マージン比率〉



より詳しい情報につきましては、当社のホームページ

<http://www.sonyfh.co.jp/>

から「IR資料」をご覧ください。

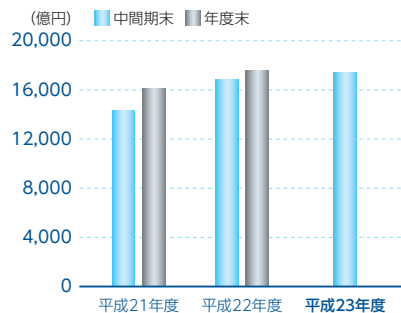
主要業績指標：ソニー銀行（単体）

		平成21年度		平成22年度		平成23年度
		中間期	通期	中間期	通期	中間期
業務粗利益	(億円)	77	149	83	164	93
営業経費	(億円)	56	116	63	126	68
業務純益	(億円)	21	32	18	36	23
預かり資産残高	〔中間期末 /年度末〕 (億円)	14,313	16,100	16,836	17,555	17,437
貸出金残高	〔中間期末 /年度末〕 (億円)	5,343	5,866	6,364	7,224	7,761
うち住宅ローン	(億円)	5,259	5,551	5,813	6,560	6,978
自己資本比率(国内基準)	〔中間期末 /年度末〕 (%)	13.41	12.09	11.76	10.84	10.52
口座数	〔中間期末 /年度末〕 (万件)	75.0	79.6	82.8	85.9	88.1

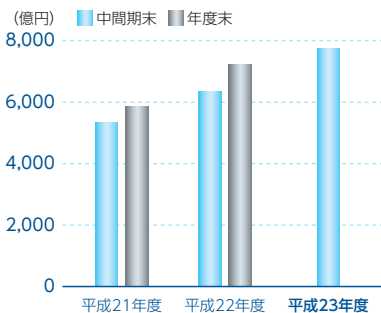
※1 預かり資産残高は、預金残高と投資信託残高の合計です。

※2 自己資本比率(国内基準)は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」(平成18年金融庁告示第19号)に基づき算出しています。なお、平成21年3月期より「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準の特例」(平成20年金融庁告示第79号)を適用しています。

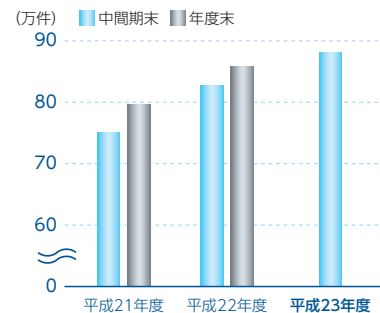
〈預かり資産残高〉



〈貸出金残高〉



〈口座数〉



より詳しい情報につきましては、当社のホームページ

<http://www.sonyfh.co.jp/>

から「IR資料」をご覧ください。

ここからは、2011年6月に開業10周年を迎えた
ソニー銀行について特集いたします。

ソニー銀行 開業10周年 特集



個人のお客さまにとって フェアな銀行でありたい

ソニー銀行は、個人のお客さまに資産運用のための質の高い金融商品・サービスを提供するインターネット銀行として、2001年6月に開業しました。

以来10年間、企業理念の冒頭に掲げた「フェアである」ことを目指し、円預金、外貨預金、投資信託、さらには株式・ETFなどの資産運用商品や、住宅ローンなどを、サービスサイト「MONEYKit」を通じて、合理的かつ市場実勢に近い価格で提供してきました。

特に資産運用については、お客さまがご自身で商品をご検討いただけるよう、充実した金融情報と使いやすいツールを提供し、お客さまから長きにわたってご信頼いただけるサービスの実現を常に目指してきました。

2011年1月に日本経済新聞社が発表した「日経金融機関ランキング」の顧客満足度において、4年連続で第1位を獲得することができたのも、このような、ソニー銀行が追求する“フェアな銀行”のあり方を、多くのお客さまにご支持いただけた賜物と考えています。

今や、インターネットは生活のすみずみまで普及し、インターネットを通じた資産運用や住宅ローンのお取り引きも、より身近なものになりましたが、ソニー銀行は、「フェアである」ことを軸に、「ソニー銀行ならではの」商品・サービスを、これからも提供し続けていきます。

開業10周年を機に、その決意を分かりやすい言葉でお客さまにお伝えし、また、お約束するため、「できる、ひろがる。ソニー銀行」という新しいコーポレートスローガンを掲げました。これには、ソニー銀行の社員一人ひとりが「自分の『できる』を広げているか。」「お客さまの『できる』が広がる方向か。」を意識し、現状を超えて、お客さまとともにワクワクできる商品・サービスを提供していく、という想いが込められています。



できる、ひろがる。

誰にもできなかったことに、

私たちは挑みつけよう。

人々の半歩先にあるニーズを考え抜き、

つねに期待を超えていこう。

先駆けて銀行とインターネットを結び、

ひとつずつ、課題とまっすぐに向き合い、

未知の領域を切り拓いてきた者として、

触れると目の前がひらけるような、

ちがう未来が見えてくるような、

そんな新しい自由と可能性を、

一人ひとりの毎日に届けていこう。

ソニー銀行

ぜひ、ソニー銀行の次の飛躍にご期待ください。

ソニー銀行が目指す「外貨ワールド®」とは

Q: ソニー銀行の外貨預金の特長は何でしょうか。

A: 他の邦銀と大きく違うのは、**お預けいただいた外貨を、外貨のまま自由に動かすことができる点**だと考えています。具体的には、一度、円を外貨に換えれば、それをそのまま、外貨MMFや外国為替証拠金取引などで運用できます。

また、米ドルと他の外貨との間の直接取引も可能で、たとえば、米ドルからユーロへ乗り換える際に円に戻す必要がなく、為替コストを抑えることができます。

私たちはこの「貯めた外貨が外貨のまま自由に使える世界」を「外貨ワールド®」と呼んで、積極的に展開しています。

Q: 外貨預金に対する想いを教えてください。

A: ソニー銀行は、外貨取引を提供するチャネルとしてインターネットが最適だと考え、ネットならではの利点を活かして、為替コストを低く設定する、為替レートを外国為替市場に連動させるなど、お客様の利便性を追求してきました。

お客様の期待値を100とすると、私たちはそれを上回る120でお応えする、という想いのもと、商品・サービスを企画しています。たとえば、毎月発表の米国雇用統計は為替相



プロフィール
ソニー銀行
外貨企画部長

國津 雅央

1968年熊本県生まれ。
2001年ソニー銀行入社。

場に大きく影響しますが、私たちはこの日を「**雇用統計はソニー銀行の日**」と銘打ち、**為替コストなどを引き下げるキャンペーン**を始めました。また、お客さまの外貨預金残高に応じて「**優遇ステージ**」を設け、**為替コストや金利を優遇する制度**もご用意しています。

本年5月には、**邦銀初となる、ブラジルレアルの取り扱い**を開始しました。金利水準の高い新興国通貨として注目されています。

これからも、お客様の期待を超える商品・サービスを積極的に提供し、外貨のソニー銀行として、より存在感を高めていきたいと考えています。

Q: これからの「外貨ワールド®」は?

A: 円でできることは外貨でもできるようにする、というのが理想です。外貨のまま利用できるサービスをさらに増やしていきたいですね。また、外貨預金の取扱通貨、外貨宅配(米ドル・ユーロ・豪ドル)や2通貨決済機能付クレジットカード(円・米ドル)の対象通貨の拡充も、引き続き検討していきます。

外貨は魅力ある運用商品です。他のやらないことにチャレンジする、ソニースピリットあふれる外貨の商品・サービスを今後も提供していければと思います。ぜひご期待ください!



外貨ワールド®

主な商品・サービスのご紹介

貯める・増やす

円定期預金



市場金利と連動性の高い金利を実現する**円定期預金・積み立て定期預金**で堅実な資産運用をサポート。

投資信託

ポートフォリオづくりに役立つ「投資信託のセレクトショップ」を目指し、幅広い投資対象・運用タイプを網羅しながら、良質なファンドを厳選。

外貨預金



米ドルと米ドル以外の外貨を直接取引する**外貨間取引、指値取引、外貨定期預金の為替予約**など、さまざまな取引が可能。

株式・ETFなど

「MONEYKit」上で、ソニー銀行証券の口座開設申込、株式等のご注文など、一連のお手続きが可能。「資金スイープサービス」により、円普通預金口座と証券取引口座の間で資金を自動振替。

賢く借りる

住宅ローン



ソニー銀行の住宅ローンは、

- ・お申し込みからご契約まで、ご来店の必要がありません。
- ・借り入れ後も、金利タイプの変更や繰り上げ返済がいつでもインターネットでお手続き可能です。
- ・「より低い変動金利で住宅ローンを借り入れたい」というニーズにお応えする、「変動セレクト住宅ローン」もお選びいただけます。

住宅ローンプラザ

「やっぱり、窓口で直接相談したい」というお客さまには、対面のご相談窓口「住宅ローンプラザ」をご用意しています。

※個別相談のご予約は下記にてうけたまわります。

フリーダイヤル

0120-365-723

※アナウンス開始後「99#」を入力してください。
フリーダイヤルをご利用いただけない場合は、

03-6730-2700 (通話料有料)

予約受付時間

平日：9:00～20:00
土・日・祝日：9:00～17:00
(年中無休)

住所

東京都中央区八重洲2-1-1 ヤンマー東京ビル1F
JR東京駅 八重洲中央口正面 徒歩1分



ソニー銀行の商品・サービスには、ご利用にあたっての条件や制限、およびリスクなどのある場合があります。また、システムメンテナンスなどの理由により、一時取扱いを停止する場合があります。ソニー銀行の商品・サービスのご利用に際しては、事前に必ず、インターネット上のソニー銀行サービスサイトに掲載している各商品・サービスの約款、商品詳細説明書、目論見書などの内容をご確認いただきますようお願いいたします。

提携ATMで気軽にお預け入れ・お引き出し

		お預け入れ	お引き出し
 三井住友銀行	 @BANK 九州地区の @BANKを除く	0円	105円 (あわせて月4回まで無料)
 三菱東京UFJ銀行	 ゆうちょ銀行		
 「ローソンATMマーク」のあるローソンATM	 コンビニATM イーネットATM (※1)		
 セブン銀行ATM		0円	

お振込み手数料

ソニー銀行口座へのお振込み：0円

他の銀行口座へのお振込み：毎月初回 0円(※2)、2回目以降 210円(消費税込み)

お振込み
手数料は 振込み金額に
かわらず
定額です

(※1) 「イーネットマーク」のあるファミリーマートなどのATM (※2) ●当面、月1回実行分のお振込み手数料を、翌月初旬にお客さまの円普通預金口座へキャッシュバックすることで実質無料とさせていただきます。●インターネットバンキング(スマートフォン含む)・モバイルバンキング・テレホンバンキングからの他行宛てお振込みが対象です。●楽天銀行へのお振込みは手数料無料の対象外です。●提携ATMからのお振込みは手数料無料の対象外です。

資産運用を応援！ ソニー銀行ならではの便利なツール

ペットと一緒に貯金！ほしいもの貯金箱



「ほしいもの貯金箱」は、ピンクのテディベア「モモ」をはじめとするPostPetのキャラクターたちが、あなたの貯金を応援してくれる、楽しい貯金箱です。



PostPet™ ©So-net

MONEYKit

<http://moneykit.net/>

口座開設は、上記URLからお申し込みいただけます。

ソニー銀行カスタマーセンター
0120-365-723 (フリーダイヤル)

フリーダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6730-2700 (通話料有料)

口座開設のお問合わせは、**6#** → **1#**をプッシュ

[口座開設についてのコミュニケーターへのお問合わせ]

平日9:00~23:00/土・日・祝日(12/31~1/3を含む) 9:00~17:00

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※番号をお間違えにならないようくれぐれもご注意ください。

※IP電話をご利用の場合、ご入力内容が確認できないことがあります。

ソニー銀行

検索

株式の状況 (平成23年9月30日現在)

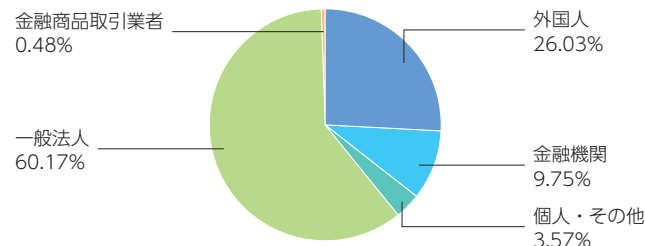
発行可能株式総数 1,600,000,000 株

発行済株式の総数 435,000,000 株

株主数 24,286名

上場証券取引所 東京証券取引所

株式の所有者別状況



会社概要

商号 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
(英文名: Sony Financial Holdings Inc.)

設立 平成16年4月1日

所在地 東京都港区南青山1丁目1番1号

代表電話 03-5785-1070

事業内容 生命保険会社・損害保険会社・銀行・その他の保険
業法および銀行法の規定により子会社とした会社の
経営管理およびそれに附帯する業務

ホームページ <http://www.sonyfh.co.jp/>

お問い合わせ先 広報・IR部

Eメール: press@sonyfh.co.jp

SFHホームページのご案内



SFHでは、タイムリーな情報発信と、SFHグループをよりご理解いただくために、ホームページを積極的に活用しています。ぜひご利用ください。

【主なコンテンツ】

個人投資家の皆さまへ

SFHグループについてより良く知っていただくために、会社案内、グループの強み、個人投資家向け説明会の模様などを掲載しています。



業績・財務情報

SFHグループ各社の主要業績指標を、年間データまたは四半期累計でご覧いただけます。また、データをエクセルでダウンロードすることも可能です。

IRメール配信サービス

ご登録いただくと、当社のホームページの最新情報のタイトルとURLをメールでご案内します。

ディスクロージャー誌のご請求

当社のディスクロージャー誌（アニュアルレポート）をお申し込みいただけます。

今後も、利便性、コンテンツの充実を図るため
ホームページの改善を行ってまいります。

アドレスはこちら

<http://www.sonyfh.co.jp/>